北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	観光研究ゼミナールⅠ	科目コード	1233	単位数	2
担当者名	山田　勅之	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	演習	到達目標	F,H	実務経験	無
ナンバリング	LSe401	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

本ゼミナールでは、まず観光学の代表的な参照文献であるジョン・アーリ『観光のまなざし』の一部を輪読します。次いでその理論に基づいて、観光スポットを読み解くトレーニングをグループで行います。このように得た知識を踏まえて、自らが関心を持つ観光現象について研究計画書を作成します。そして作成した研究計画書に沿って、資料収集を行い、分析検討して、結論を導き出します。これら一連の作業を全て自らが能動的に行ない、その成果をプレゼンテーション及び研究レポートという形で発表します。

このように実証研究を通じて、豊かな知識、柔軟な発想を身につけます。

到達目標

・著者の伝えたいことを正確に把握して、他人へ伝える力。
・課題を自ら発見して探求する力。
・自分の考えを根拠をもって論理的に説明できる力。
観光の現場で実践できる能力の獲得ができます。

授業内容

1週目 ガイダンス：ゼミの進め方、方針。
　観光学とは何か？
2週目 輪読①　ジョン・アーリ『観光のまなざし』
3週目 輪読②　ジョン・アーリ『観光のまなざし』
4週目 輪読③　ジョン・アーリ『観光のまなざし』
5週目 輪読④　ジョン・アーリ『観光のまなざし』
6週目 グループワーク（準備）　観光スポットを読み解く
7週目 グループワーク（発表）　観光スポットを読み解く
8週目 研究計画書作成
9週目 研究発表準備
10週目 研究発表①　パワーポイントを用いてプレゼンテーション。その後全員で議論する。
11週目 研究発表②　パワーポイントを用いてプレゼンテーション。その後全員で議論する。
12週目 研究発表③　パワーポイントを用いてプレゼンテーション。その後全員で議論する。
13週目 研究レポート作成
14週目 研究レポート作成
15週目 研究レポート添削と修正
16週目 講評と振り返り。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行う。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

・予習
輪読では事前に必ず該当箇所を熟読しておくこと。研究発表ではパワーポイントにて内容をまとめてください（90分程度）。
・復習
ゼミ生の発表を振り返り、自分自身の考えをノートにまとめる（30分程度）。

成績評価の方法・基準

輪読への参加度、研究計画書、研究発表、研究レポート、プレゼンテーション、議論への参加度などを評価の対象となります。

履修上の留意点

・遅刻や私語、飲食などの迷惑行為を慎むこと。出欠は授業の参加度の観点から管理します。改善されない場合は不合格となることがあります。発表については全員で評価します。
・研究計画書や研究レポートの作成にはノートパソコンなどを使います。

課題に対するフィードバックの方法

研究発表については、口頭にてコメント・評価します。
研究計画書と研究レポートについては、評価・添削して返却します。

テキスト

特になし。

参考書

ジョン・アーリ著、加太宏邦訳『観光のまなざし―現代社会におけるレジャーと旅行』（法政大学出版局）5060円
大橋昭一・橋本和也・遠藤英樹・神田孝治編『観光学ガイドブック』（ナカニシヤ出版）3080円
遠藤英樹・橋本和也・神田孝治編著『現代観光学―ツーリズムから「いま」がみえる』（新曜社）2310円
竹内正人編『入門観光学』（ミネルヴァ書房）3080円

更新日付

2026/01/26 02:10